

決算

令和3年度

市の財政事情

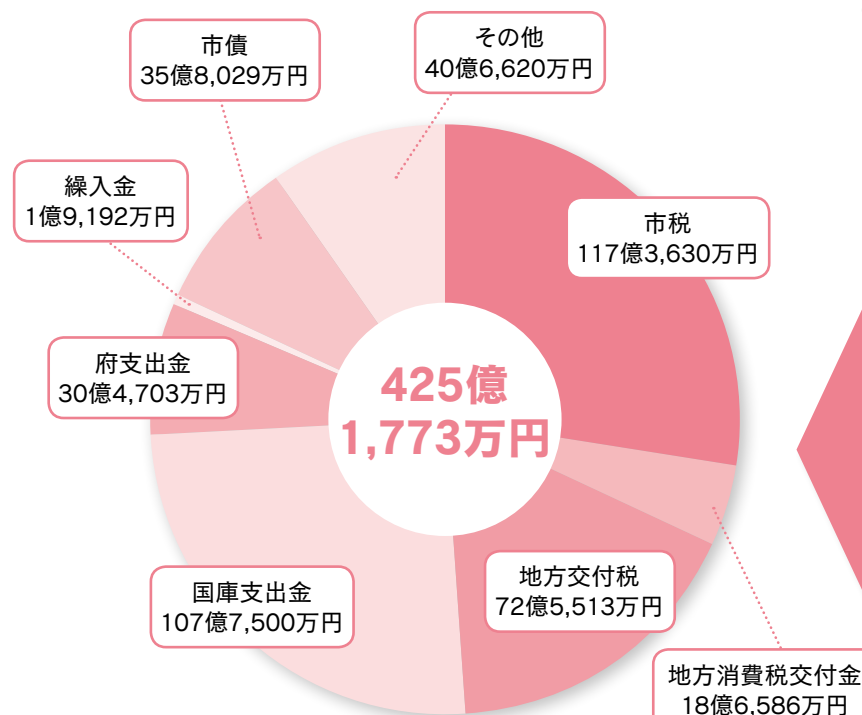
長期にわたる感染症に打ち勝つための「ビヨンド・コロナ社会」の構築に向けて

「ITを活用した心を通う便利で心豊かな田舎暮らし」施策の推進



令和3年度は、長期にわたる新型コロナウイルス感染症に対応するために、ワクチン接種事業や公共施設などへの感染症拡大防止対策、経済的影響を受けた市民の皆さんや事業所への支援はもちろんのこと、今後、感染症に打ち勝ち、乗り越える持続可能なシステム「ビヨンド・コロナ社会」の実現に向けた事業に取り組みました。また「ITを活用した心を通う便利で心豊かな田舎暮らし」ができるまちを目指し、移住・定住の促進、関係人口の創出、子育て環境日本一に向けた子どもの豊かな育ちを支える環境づくりなど数々の事業に取り組みました。詳しくは、市ホームページでも公開しています。左下コードからアクセス可。

同 財政課 (☎ 66・1046)

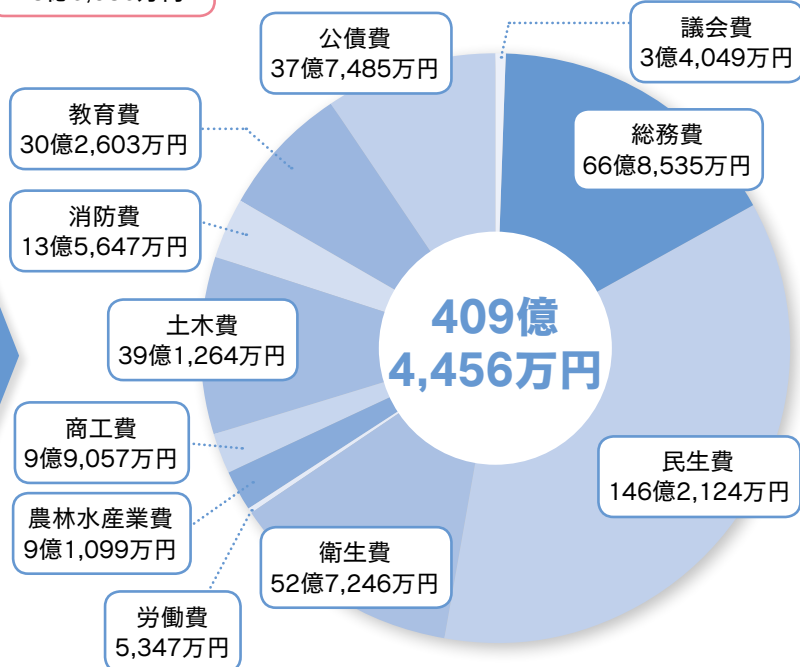


歳入 市に入ったお金

歳入総額は425億1,773万円で、前年度に比べ28億4,370万円減少しました。前年度に新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策で実施した特別定額給付金給付事業の財源である国庫支出金が51億7,855万円の減少となったことから、総額が前年度を下回りました。

歳出 市が使ったお金

歳出総額は409億4,456万円となり、前年度に比べ37億6,357万円の減少となりました。前年度を下回った主な要因としては、国庫支出金を用いて実施していた特別定額給付金給付事業などの新型コロナウイルス感染症の対策関連事業が減少したことによるものです。



特別会計・企業会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、使用料などの収益でその事業の経費を賄う

ため、一般会計とは区別して収入・支出を処理するための会計です。

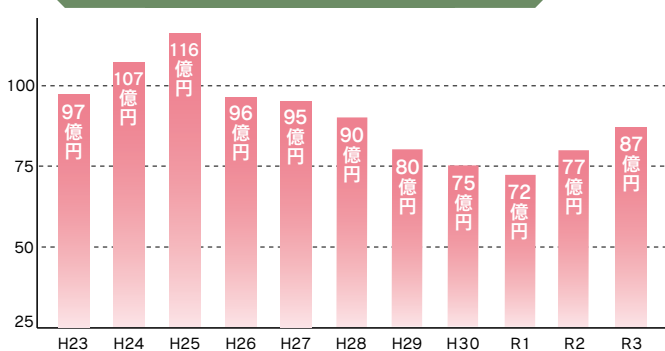
これからの見通し — 持続可能な財政に —

◆市の基金

市では、経済事情の変動や災害などの予期せぬ出費などに対応するための「財政調整積立金」をはじめ、施設などの整備や地域開発事業の推進などに備えたさまざまな基金を持っています。

本市では近年、平成25年度や平成29年度・30年度と度重

基金残高の推移 ※普通会計

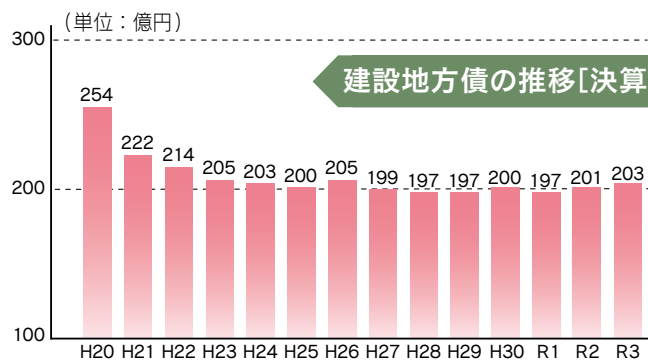


なる台風などの災害を受けたことなどにより、基金残高が減少しましたが、社会情勢に即した事業の見直しや各部署に一定額の予算枠を配分する、自主的・自律的な予算編成に取り組み、得られたお金の中でやりくりし、取崩しを抑えてきたことで、令和3年度末には、平成29年度・30年度の連続被災前と同程度まで基金残高を戻すことができました。

◆市が借りているお金

公共施設の建設、道路の整備、災害復旧などの一度に多額の費用が必要な時に借り入れるお金を地方債といえます。例えば、道路整備費用を一括で払うと、数十年にわたって使用する道路を、今税金を納めている人のお金だけで整備することになってしまいます。そこで、地方債として「建設地方債」を借り、複数年で返済することで支出額を平準化し、使用する世代間の公平性を保っています。

建設地方債の推移[決算]



◆将来に向けて

創意工夫を凝らし健全な財政運営を行ってきたことにより、令和4年度に原油価格・物価高騰が発生した際にも、市民の皆さんや事業者への支援施策を迅速に実施することができました。

これからも持続可能で魅力的なまちづくりの実現に向けて、事業の見直しなどを行うとともに、こども園や西舞鶴駅周辺の機能強化等の未来への投資など、市にとって必要な事業に取り組んでいきます。

特別会計	会計名	収入	支出	基金残高
	国民健康保険	80億5,463万円	77億9,415万円	7億5,655万円
	介護保険	85億6,686万円	82億7,135万円	5億4,720万円
	後期高齢者医療	13億7,349万円	13億6,669万円	—
	貯木	63万円	63万円	8,468万円
	駐車場	1億446万円	9,604万円	2,105万円

企業会計	会計名	収入	支出	当年度純利益
	水道事業	19億1,615万円	16億6,058万円	2億5,557万円
	下水道事業	34億1,203万円	32億6,127万円	1億5,076万円
	病院事業	9億4,169万円	9億6,713万円	△2,544万円